



伝え合う

副校長 松本 真理

「読んだ本の感想を伝え合ってもらえますか。」

この冬休み、学校からは「冬休み☆家族 de 読書カード」という課題を出しました。冬休みが終わって、みんながどんな本を読んだのか、おうちの人からどんな感想がきているのかが気になって、カードを読んできました。

「普段は一緒に本を読むことがないので新鮮でした。」「本を読むよいきっかけになりました。これからも読書の時間を作れるようにしたいです。」「小さい頃に読んでいた本を改めて読むきっかけになって良かったです。」「とても興味をもって取り組んでいました。普段このような機会がないので、コミュニケーションの場にもなり、良い学習方法だと思います。」「お互いの感想がちがうところもあり、感想を伝え合うのが面白かったです。」「お互い感想を言って、改めて、本を読むことや今どんな本に興味があることが分かりました。」保護者の方々にたくさんコメントをいただいて温かい気持ちになりました。

今回は冬休みの間でしたが、このように本を読んで感想を言う時間をとることはとても意味のあることだったと思います。「伝え合う」ということは、コミュニケーションをとることです。一昨年私が学校だよりで佐藤さとの「誰も知らない小さな国」という本を紹介した後に、4年生(当時)がそのことで声をかけてくれて嬉しかったのを今でも覚えています。それは一方通行でなくてコミュニケーションがとれたことを感じられたからです。

本をとおしての伝え合いもそうですが、授業の中や普段の生活の中で気持ちを伝え合うことのできる子を育てていきたいと私たちは考えています。

暦の上ではもうすぐ立春ですが、まだ寒い日が続きます。学校では子どもたちの健康にも気を配りながら過ごしていきます。これからもみなさまの温かいご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年の冬休みは、読書の時間をつくって、いろいろな本を読みましよう。
読書が好きな人も、「あまり読書をしてないな」という人も、だれかといっしょに取り組むと、楽しい時間がすごせるかもしれません。冬休みは、家族で読書してみませんか。

【家族de読書のやり方】

- ① 読書する時間をきめます。
- ② 一人1さつ本をえらびます。
- ③ 読み終わったら感想をつたえあいます。

※同じ本をいっしょに読んだり、べつの時間に交代で読んだりしてもよいです。
※家族は二人でも三人でもOKです。
※同じ時間にできないときは、それぞれべつの時間に読んで、「何を読んだか」伝え合ってください。

冬休み☆家族 de 読書カード (一部)